

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 5)

団体名	(特非)西脇てとて広場	代表者 名	(職名) 理事長	(氏名) 市位 辰三
事業名	生きづらさを抱えた子どもの居場所			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で記入</small>	場所	参加者 <small>一般 (スタッフ)</small>	活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
・毎週火・土曜日 10時～15時 ・月2回9時～16時	てとて広場ほか	636 (212)	子どもの居場所112回 土曜日は発達特性のある子どもを交えた小学生～高校生、火曜日は学校に行きづらい子ども、月2回中学生女子の居場所開催
毎週火水土曜日 (18時半～19時半)	てとて広場	63 (105)	トワイライトスペース(夜間の子どもの居場所)105回 宿題をしたり、遊んだり、一人になりたい子は別室で静かに過ごす
毎月第2火曜日	みらいえ調理室ほか	84 (34)	クッキング17回 材料の買い出し、調理、食事、後片付け
毎月第2土曜日	上比延町の畑	17 (10)	綿畑作業5回(畝作り、種まき、草取り、収穫、畑仕舞いまで、スタジオモメンさんの綿畑と一緒に作業する)
毎月第3土曜日	竹内商店体育館ほか	58 (24)	ドッジボールやバドミントン、卓球などのスポーツ活動のほか山登り、ハイキングなど12回
不定期	黒田庄町の畑、てとて広場の畑ほか	84 (35)	玉ねぎ収穫、ジャガイモほり、さつまいもの苗植え、キーウイ収穫、冬野菜の種まき、苗植え等12回
不定期	てとて広場	60 (10)	工作、アート体験11回
不定期	戸外	48 (13)	ビーチクリーン、川遊び、動物ふれあい、ミラフェス販売等てとて広場から外に出て、様々な体験をする

< 効果と成果 >

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は昨年度よりも、利用する子どもの数が増えている。昨年度末集計595名、今年度2月末まで636名 ・スタッフからの提案で、5月から新たに中学生女子の居場所を月2回始めた。 ・学校に行きづらい子ども、家庭に居場所がない子ども、経済的に厳しい家庭の子ども、それぞれに生きづらさを抱えながらも、その日のプログラム(体験活動)を楽しみ、子ども自身も達成感があった。 ・年の初めにやりたいことリストを作り、子どもたち自身や保護者がやりたいことを記入し、一つずつ達成していった。生きづらさを抱えていても、前向きにやりたいことには進んで参加し、それぞれ得意なことでリーダーになれたり、教える側になったりし、自己肯定感アップにつながった。 ・保護者の会(ママカフェ)を2ヶ月に1度ほど実施した。少人数で、子どもの悩みなど話すことができた。 ・夏休みには保護者が中心となり、夏祭りを行い、20人が参加した。
--

< 今後の展望 >

・前年度、18歳以上の子どもたちは、子どもの居場所を卒業し、若者広場に参加してもらうようになり、年代を分け

ての居場所の取り組みがうまくいった。子どもの居場所もさることながら、若者の居場所も必要と考え、今後取り組みを拡げていきたい。

・不登校ではないけれど、居場所を必要とする子どもたちが保護者間の口コミや行政からの紹介により、増えた。

今後、夜間のトワイライトスペースの充実も課題となり、食事の提供等の支援も考えたい。

・今年度、初めて、スタッフ研修会を行った。開催日によってスタッフが変えることから、連携とチームワークが取りづらかったが、一堂に介して一緒に学ぶことで、より安全安心な居場所づくりにつながる。来年度はそれを踏ま

得て、「安心安全ガイドライン」を策定する予定。

・子どもの居場所、利用者数グラフ別添

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金等	3,679
合 計	503,679

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	賃借費	235,620	235,000
	消耗品費	55,702	55,700
	謝礼	181,800	181,800
	その他(使用料等)	30,557	27,500
	小 計	503,679	500,000
間接経費(一般管理費)			
合 計		503,679	500,000